（様式２）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 副首都・大阪の確立、発展に向けた取組みについて |
| 日時 | 平成29年４月21日（金）　16時10分　～　1７時05分 |
| 場所 | 大阪市役所　会議室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：池末特別参与  (職員等)：  副首都推進局副首都企画推進担当部長、事業再編担当課長、課長代理  大阪府危機管理室防災企画課長、課長補佐、災害対策課課長補佐、  消防保安課参事  大阪市危機管理室危機管理課長、課長代理 |
| 論点 | ○防災について  副首都にふさわしい防災について |
| 主な意見 | ・防災施策の見える化を、府民市民目線で整理することが重要であり、大阪府や大阪市が取り組む「防災施策とは何か」ということを、最初に分かりやすく示すべき。  ・東京都をはじめとする他都市との比較も必要だが、例えば大阪は海溝型地震、東京は直下型地震を主たるリスクと捉えているので、そういうリスクファクターの違いは考慮する必要がある。  ・「副首都にふさわしい都市基盤」という面から考えた場合、平時から、西日本の首都としてしっかりした防災機能を持つことで、域外からヒトや投資を呼び込むということに繋がる。そのために今何をすべきか、ということを把握するために自己点検するということ。  ・災害のリスク毎に、「いつ（平時、応急、復旧）、誰が（公/私、自助/共助/公助）、何をやるのか」を整理するとともに、それに人員と予算を結び付けて、「見える化」してはどうか。 |
| 結論 | 特別参与のご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。 |
| 説明等資料 |  |
| 備考 |  |
| 関係部局  （室課） | 危機管理室防災企画課、災害対策課、消防保安課 |